

黄綬2人、藍綬6人

緑が再生しなければ福島復興は終わらないと話す諸井さん



★黄綬褒章

諸井

道雄さん

南相馬市原町区
本陣前3の423

第1原発事故の発生を受け、復興や業界の活性化に、造園は「空間の構成」で一層強い思いを抱く。「緑あり、経験に基づく技能やの再生なくして福島の復興はない」と言い切る。

会長を3期6年、務めた。造園は「空間の構成」であり、経験に基づく技能やセンスが求められる。信頼を獲得するため、客との対

緑再生通し復興支える

【業務精励＝造園工事業】

1915年創業の造園土木・生花販売業「諸井緑樹園」の4代目社長を務める。東日本大震災と東京電力福島

南相馬市出身。原町高、東京農大造園学科卒。東京都の造園会社で3年間、修業し、家業を継いだ。2015年から真造園建設業協

話を重ね、丁寧な仕事を心がけてきた。「受章に責任や重みを感じる。若手の指導や技術の継承に努めた」と気持ちを新たにす。